

自然環境調査報告書第 15 集にあたって

堀井 達夫

(トトロのふるさと基金 調査部会)

キーワード：環境条件；管理方針；トラスト地

トトロのふるさと基金のトラスト地は、現在 51 号地まで増えているがその総面積は、保全すべき緑地の面積に比べたらまだ“点”にすぎない。点を“面”にするための努力は十分になされているのか、常に考えることが重要だろう。本号では 45 号地と 47 号地から 50 号地までの調査結果と管理方針の提言を川越・児嶋が行っている。20 年前に取得された 3 号地の植生の変遷と評価について児嶋、堀井、川越が報告しているが、これは管理方針の有効性を検証する必要性から実施されたもので、今後他のトラスト地に於いても順次実施していきたいと考えている。継続調査の報告として、北野の谷戸の有害物質調査を北浦が、13 号地のカタクリ調査を川越、横山がそれぞれ報告している。両方共、環境条件が健全に保たれている証の報告で、今後も継続して調査することが大切だろう。14 集に続いてトトロの森の夜の昆虫調査が矢崎、千代田から報告されている。埼玉県が行った侵略的外来生物県民参加モニタリング調査について児嶋が報告している。

謝辞

北野の谷戸の有害物質調査において、早稲田大学自然環境調査室の竹内氏のご支援・ご協力をいただいた。この場を借りて深く感謝申し上げます。